

# 世界のトレード戦略図鑑

——勝ち組トレーダーたちが実践するロジック——

かぶ自動化LAB トレードモデル開発チーム

## Vol. 1 寄り付き15分で勝負を決めろ！

### ORB（オープニングレンジ・ブレイクアウト）戦略とは？

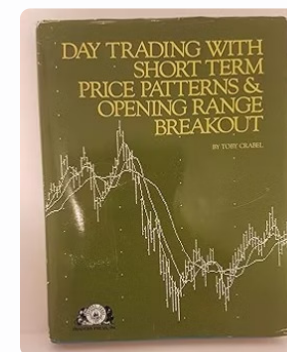
“レンジ”からの抜けを利用して、スピード勝負で利益を狙う手法を解説

市場オープン直後の価格動向を利用した効果的なトレード手法です。日本株、日経225先物、米国株、S&P500先物などに適用可能で、明確なルールに基づくため自動売買システムへの組み込みも容易です。米国のToby Crabel氏※が自身の著書で詳しく解説しています。

※Toby Crabel（トビー・クラベル）氏とは

～統計と戦略でマーケットを制した、短期トレードの先駆者～

トビー・クラベルは、短期トレーディング戦略の第一人者として知られるアメリカのプロトレーダーです。1990年に出版した著書『Day Trading with Short-Term Price Patterns and Opening Range Breakout』では、取引開始直後の価格帯を基にしたORB（オープニングレンジブレイクアウト）手法を体系化。この戦略は、相場の初動を捉える実践的なトレード手法として今も多くトレーダーに影響を与えています。彼のヘッジファンドは、統計とリスク管理を重視した運用で長年高い成績を維持しています。



# Welcome to Crabel Capital Management.

A quantitative asset management firm and systematic trader focused on research and technology.

[LEARN ABOUT OUR APPROACH](#)

Toby Crabel氏が創設したヘッジファンド「[Crabel Capital Management](#)」

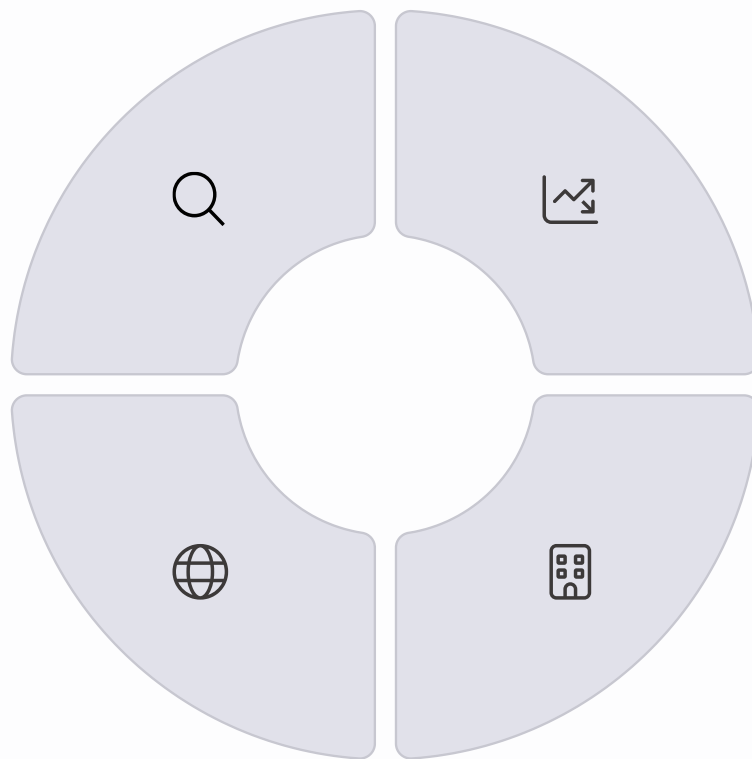
# ORB戦略の適用市場

## 日本株

寄り付き後の値動きに一定のパターンが見られることが多く、効果を発揮しやすい環境です。

## S&P500先物

世界的な指標として注目度が高く、オープニング時の値動きに特徴が見られます。



## 日経225先物

流動性が高く、テクニカル分析が効きやすいため、ORB戦略の適用に適しています。

## 米国株

特に値動きの激しいテクノロジー銘柄などでORB戦略が機能することがあります。

# トレードタイミングの定義

## オープニングレンジの形成

開場から最初の15分間（9:00～9:15）の価格動向を観察し、この時間内の高値と安値をマークします。



## ブレイクアウトの監視

9:15以降、価格がオープニングレンジの境界を超えるのを待ちます。



## 買いエントリー

9:15以降に価格がオープニングレンジの高値を上抜けた場合、買いエントリーのシグナルが発生します。



## 売りエントリー

9:15以降に価格がオープニングレンジの安値を下抜けた場合、売りエントリーのシグナルが発生します。

# 返済条件（イグジット）

## 時間決済（パターンA）

市場終了前の特定時間（14:45～15:00）にすべてのポジションを決済します。デイトレードの場合に特に有効な方法です。日をまたいだポジションを持ちたくない場合に適しています。

## ATRトレーリングストップ（パターンB）

平均真実範囲（ATR）を利用した動的な損切り・利確ラインを設定します。ATR×1.5で損切りライン、ATR×2～3で利確ラインを設定。相場のボラティリティに応じて自動調整されます。

## 逆ブレイク損切り（パターンC）

買いポジションの場合はオープニングレンジの安値割れで損切り、売りポジションの場合は高値超えで損切りを入れます。トレンドの方向性が変わった可能性が高い場合に早期退場できます。

# 利点と注意点

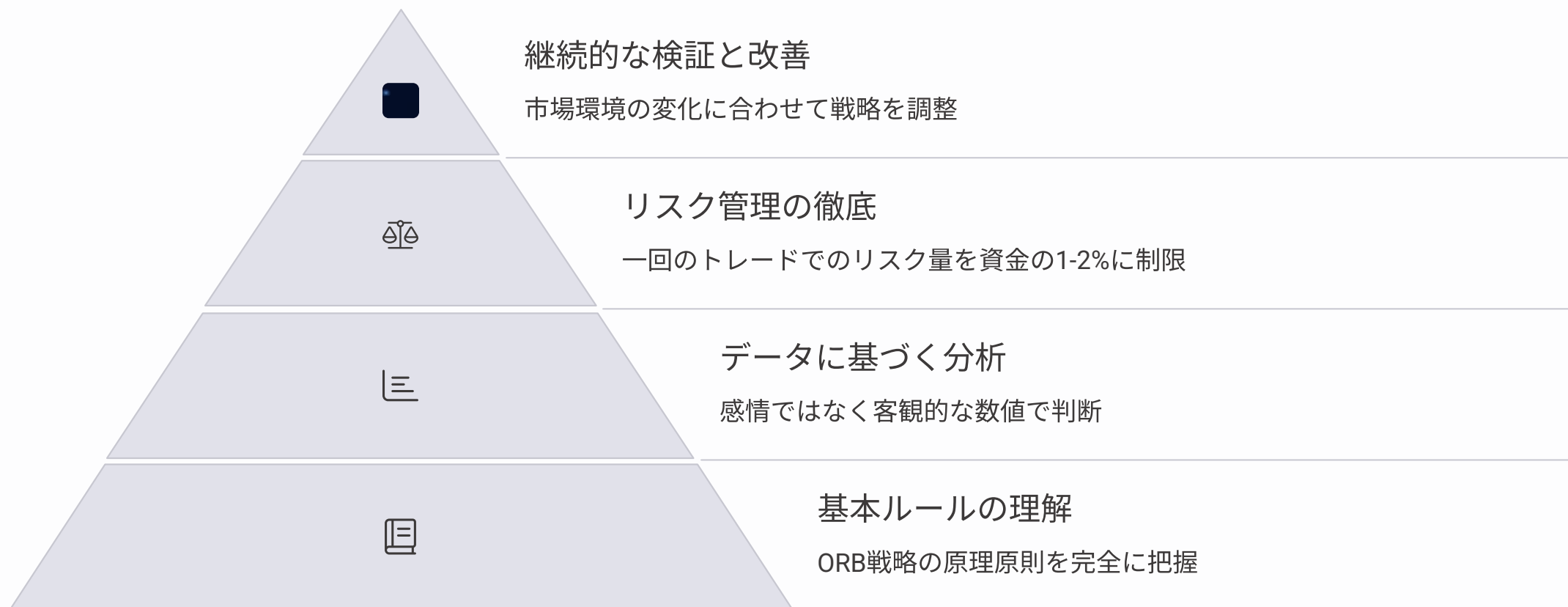
## ORB戦略の利点

- 明確なルールに基づくため自動化しやすい
- 長年にわたる実績があり信頼性が高い
- 様々な市場や銘柄に適用できる汎用性
- 事前にリスク量を把握しやすい
- トレンドの初期段階を捉えられる可能性

## 実践上の注意点

- フェイクブレイクアウトに注意が必要
- 寄り付きのギャップが大きい日は避ける
- オープニングレンジが過度に広い場合はリスクが増大
- 重要な経済指標発表日は変動が激しくなる可能性
- 流動性の低い銘柄ではスリッページに注意

# 長期的な成功のために



どのような戦略にも言えることですが、マーケットは常に変化しています。過去のパターンが将来も同じように機能するとは限りません。相場環境に合わせて柔軟に対応することが、長期的な成功につながります。

[会社概要](#) | [お問い合わせ](#) | [プライバシーポリシー](#) | [特定商取引法に基づく表記](#)

© 2021-2025 かぶ自動化LAB